

臨時号

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大通ビルディング3F
TEL●092-482-7770(代)
ホームページ●http://www.greencoop.or.jp/

グリーン・ウェーブ GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

1/23

第十九期 臨時総代会報告

Q 再処理は全く何も具体的に決まっていないのに、使用済みMOX燃料の再処理費用を既に今年の4月から電気料金に上乗せしていくという報道があります。そのことも訴訟の中に加味していくだけだと思います。

A 東原理事長補佐

現在の電気料金、託送料金は総括原価方式というやり方で、かかる費用を全部計算し、利潤も計算して決められています。今年の4月から電気料金の仕組みからは総括原価方式が無くなります。しかし託送料金は送配電の費用として総括原価方式が残り、結局原発の費用をどう賄うのか困るので託送料金に上乗せする考えになるのだと思います。

O 自分は10年後もこの訴訟には賛成しています。たゞ私の地域の皆さんは、反対の方が多いのが事実です。訴訟というのはどうなのかと、これまでグリーンコープを支えてきた非常に熱心な組合員でさえ、温度差をすごく感じています。今訴訟を起こす段階で一般の組合員と総代の間の意識の乖離があり、10年後の組合員は、この訴訟を応援しているかと不安があると思います。ブルサーマルの裁判は個人名を出して法廷に立ち、思いを訴えているので心を打たれるのです。この託送料金

の訴訟は、法人が原告になるので顔が見えにくいのです。顔を出して訴えていくような裁判になるといなと思います。

O 託送料金というのは結局復興の妨げになるからと、放射能とか被ばくという言葉もほとんど新聞で報道しません。子どもにとって安心して食べさせられるものを食べたい、子どもが健康に育つことを願うので託送料金の話は、なつかなか伝わらない。地域の活動の中で取り組むような形がなかなか伝わらない。地域の活動の中での自分の身近な問題になると思います。

A 三原理事長

本当に皆さん有難うございました。総代ではない組合員と私たちの中には乖離があると心配の声を上げて下さいました。支部委員長が常々考えてその意見も理事会で出しています。総代会の意見を参考にし、乖離しているものを埋めていけるか考えていくまでは皆さんも委員の方は委員会で、委員ではない方は総代ニュースの最後に書く欄があり、そこに意見を出しています。総代会の意見を参考にし、乖離しているものを埋めていけるか考えていくまではあります。

A 東原理事長補佐

一番前提にあるのが、事故の責任は事業者にあるんであります。ところが事業者にある責任がいつの間にか現在電気料金を払っている国民にあって、新電力に移った人からはもうえなくなるからもうようになります。それに関連し戦後の九州電力の有価証券報告書を全部当たり、株主への配当、経営者への給料、社債を買った人の利益返還、銀行への支払利息、現在会社の持つものになっている所有財産、全部合わせて九州電力の場合25兆円。東京電力の場合85兆円。というお金が皆の電気料金から電力会社にいってました。賠償のお金が必要、廃炉のお金が必要なら、そのような利益の中からの返還ということが最初ではないですか。これを裁判の中できちつと言っています。

O 日本は原発を仕事にお金が動きます。託送料金つけておかしい所を見つけてくださいとあります。風穴を開けているのです。ずっと続けていると皆理解してくれると思います。正しいことをやつたものです。託送料金が動きます。託送料金つけておかしい所を見つけてくださいとあります。風穴を開けているのですから。

A 三原理事長

沢山の皆さん自分が自分で手を挙げて発言されている姿で手をすごく感動しています。グリーンコープは、決して私一人が何か決めて進めているわけではなくて、皆さんと一緒に一人ひとりの考え方を聞きながら、進めていると思っていています。一般的の組合員にどう伝えていくか、アイデアもいただいたと思っています。無関心というのが一番よくない。

とにかく考えてくれる人たちを増やす。そのためには私は皆さんと一緒に考えていくたいと思います。食べものを選ぶようにという話があります。出会った福島のお母さんは、「我が子に食べさせたい」とおっしゃっていました。福島のお母さんは「我が子に食べさせられるものが放射能に汚染されていない、安心安全な食べ物を入れたい。ただそれだけです。」と言われお母さんたちが集まって設立準備会を行なわれ、今度福島でグリーンコープが誕生します。福岡では当たり前のようになります。グリーンコープの食材を手に入れることができます。それが見えない人がいる現実はおかしいといいうものは言えるよね。と、いつも私よりも現場に近い支部委員長の皆さんから言葉をいただきながら進めてきました。

国会議員へどんどん知らせ話を聞いて、最終的に自分の考

の訴訟は、法人が原告になるので顔が見えにくいのです。顔を出して訴えていくような裁判になるといなと思います。

Q 再処理は全く何も具体的に決まっていないのに、使用済みMOX燃料の再処理費用を既に今年の4月から電気料金に上乗せしていくという報道があります。そのことも訴訟の中に加味していくだけだと思います。

O 託送料金というのは結局復興の妨げになるからと、放能とか被ばくという言葉もほとんど新聞で報道しません。子どもにとって安心して食べさせられるものを食べたい、子どもが健康に育つことを願うので託送料金の話は、なつかなか伝わらない。地域の活動の中で取り組むような形がなかなか伝わらない。地域の活動の中での自分の身近な問題になると思います。

A 三原理事長

本当に皆さん有難うございました。総代ではない組合員と私たちの中には乖離があると心配の声を上げて下さいました。支部委員長が常々考えてその意見も理事会で出しています。総代会の意見を参考にし、乖離しているものを埋めていけるか考えていくまでは皆さんも委員の方は委員会で、委員ではない方は総代ニュースの最後に書く欄があり、そこに意見を出しています。総代会の意見を参考にし、乖離しているものを埋めていけるか考えていくまではあります。

A 東原理事長補佐

一番前提にあるのが、事故の責任は事業者にあるんであります。ところが事業者にある責任がいつの間にか現在電気料金を払っている国民にあって、新電力に移った人からはもうえなくなるからもうようになります。それに関連し戦後の九州電力の有価証券報告書を全部当たり、株主への配当、経営者への給料、社債を買った人の利益返還、銀行への支払利息、現在会社の持つものになっている所有財産、全部合わせて九州電力の場合25兆円。東京電力の場合85兆円。というお金が皆の電気料金から電力会社にいってました。賠償のお金が必要、廃炉のお金が必要なら、そのような利益の中からの返還ということが最初ではないですか。これを裁判の中できちつと言っています。

O 日本は原発を仕事にお金が動きます。託送料金つけておかしい所を見つけてくださいとあります。風穴を開けているのですから。

A 三原理事長

沢山の皆さん自分が自分で手を挙げて発言されている姿で手をすごく感動しています。グリーンコープは、決して私一人が何か決めて進めているわけではなくて、皆さんと一緒に一人ひとりの考え方を聞きながら、進めていると思っていています。一般的の組合員にどう伝えていくか、アイデアもいただいたと思っています。無関心というのが一番よくない。

とにかく考えてくれる人たちを増やす。そのためには私は皆さんと一緒に考えていくたいと思います。食べものを選ぶようにという話があります。出会った福島のお母さんは、「我が子に食べさせたい」とおっしゃっていました。福島のお母さんは「我が子に食べさせられるものが放射能に汚染されていない、安心安全な食べ物を入れたい。ただそれだけです。」と言われお母さんたちが集まって設立準備会を行なわれ、今度福島でグリーンコープが誕生します。福岡では当たり前のようになります。グリーンコープの食材を手に入れることができます。それが見えない人がいる現実はおかしいといいうものは言えるよね。と、いつも私よりも現場に近い支部委員長の皆さんから言葉をいただきながら進めてきました。

国会議員へどんどん知らせ話を聞いて、最終的に自分の考

の訴訟は、法人が原告になるので顔が見えにくいのです。顔を出して訴えていくような裁判になるといなと思います。

Q 再処理は全く何も具体的に決まっていないのに、使用済みMOX燃料の再処理費用を既に今年の4月から電気料金に上乗せしていくという報道があります。そのことも訴訟の中に加味していくだけだと思います。

O 託送料金というのは結局復興の妨げになるからと、放能とか被ばくという言葉もほとんど新聞で報道しません。子どもにとって安心して食べさせられるものを食べたい、子どもが健康に育つことを願うので託送料金の話は、なつかなか伝わらない。地域の活動の中で取り組むような形がなかなか伝わらない。地域の活動の中での自分の身近な問題になると思います。

A 三原理事長

本当に皆さん有難うございました。総代ではない組合員と私たちの中には乖離があると心配の声を上げて下さいました。支部委員長が常々考えてその意見も理事会で出しています。総代会の意見を参考にし、乖離しているものを埋めていけるか考えていくまでは皆さんも委員の方は委員会で、委員ではない方は総代ニュースの最後に書く欄があり、そこに意見を出しています。総代会の意見を参考にし、乖離しているものを埋めていけるか考えていくまではあります。

A 東原理事長補佐

一番前提にあるのが、事故の責任は事業者にあるんであります。ところが事業者にある責任がいつの間にか現在電気料金を払っている国民にあって、新電力に移った人からはもうえなくなるからもうようになります。それに関連し戦後の九州電力の有価証券報告書を全部当たり、株主への配当、経営者への給料、社債を買った人の利益返還、銀行への支払利息、現在会社の持つものになっている所有財産、全部合わせて九州電力の場合25兆円。東京電力の場合85兆円。というお金が皆の電気料金から電力会社にいってました。賠償のお金が必要、廃炉のお金が必要なら、そのような利益の中からの返還ということが最初ではないですか。これを裁判の中できちつと言っています。

O 日本は原発を仕事にお金が動きます。託送料金つけておかしい所を見つけてくださいとあります。風穴を開けているのですから。

A 三原理事長

沢山の皆さん自分が自分で手を挙げて発言されている姿で手をすごく感動しています。グリーンコープは、決して私一人が何か決めて進めているわけではなくて、皆さんと一緒に一人ひとりの考え方を聞きながら、進めていると思っていています。一般的の組合員にどう伝えていくか、アイデアもいただいたと思っています。無関心というのが一番よくない。

とにかく考えてくれる人たちを増やす。そのためには私は皆さんと一緒に考えていくたいと思います。食べものを選ぶようにという話があります。出会った福島のお母さんは、「我が子に食べさせたい」とおっしゃっていました。福島のお母さんは「我が子に食べさせられるものが放射能に汚染されていない、安心安全な食べ物を入れたい。ただそれだけです。」と言われお母さんたちが集まって設立準備会を行なわれ、今度福島でグリーンコープが誕生します。福岡では当たり前のようになります。グリーンコープの食材を手に入れることができます。それが見えない人がいる現実はおかしいといいうものは言えるよね。と、いつも私よりも現場に近い支部委員長の皆さんから言葉をいただきながら進めてきました。

国会議員へどんどん知らせ話を聞いて、最終的に自分の考

開会あいさつ



砥上南地域理事長

一人ひとりが考え

参加していく社会が

実現できたらと思います

皆さんお疲れ様です。今日は本当にもう、朝からどういう検討がなされるのか、決議がどうなるのかとてもドキドキしてこの場にきました。可決されるだろか、否決されるだろかと思いつながら、ただ皆さんこの場でしつかり検討した結果が出ると思ってこの場にきました。そして今日このように可決していくに感動しました。熱い思いといたいたことで、私たちは本当にこのことをしつかりと受け止めました。皆さんの検討の様子を拝見し、感謝しました。熱い思いと素晴らしいと思いました。

国や経産省がこの九電との話合いの中で託送料金の上乗せがやめられて、そして原発が無くなるという事が一番だと思っています。今後の裁判の行方によつて、やはり様々な決断をしなけ

るが、アイデアとか一生懸命考えていて下さったことをこの場で発言して下さり、そしてこの場にいる皆さん一生懸命それを受け止めて出した結果が、今日の結果だと思っています。本当に素晴らしいと思いました。

議長



總代定数 385名
有効票数 354票
(委任状を含む出席209名 書面議決書145名)

議案と採決結果	
第一号議案：託送料金訴訟決定の件	賛成多数により 可決承認 保留34・反対17
第二号議案：議案決議効力発生の件	賛成多数により 可決承認 保留22・反対4

※議長2名は採決の数に含まれていません。

ればいけない場面が出てくると思います。その時はまたこのようないくことを貫いていきたいと思っています。今日の決議を理事会にしつかり持ち帰り、検討をしていきたいと思っています。そしてそのような検討が、理事会だけでなく、地域理事会、支部委員会、地域委員会、そしてご自分が住んでる地域、ご家族の中で行われ、一人ひとりが考え、参加していく社会が実現できたらと思っています。この託送料金訴訟が一つのきっかけとなれるように頑張って活動していくみたい、原発をなくすように活動して行きたいと思っています。本日は本当に疲れ様でした。

会場の様子



発言する総代



三原理事長

意見を聞く三原理事長と東原理事長補佐



採決の様子



その電気、大丈夫？

原発反対!!

と思っていても、大手電力会社の電気をつかうことは原発を支持し、応援することになります。

一般電力は、火力・水力・太陽光・風力・バイオマス・原発など様々あります。

毎日使う電気を「原発フリー」に変えることが原発のない未来へつながります。

「グリーンコープでんき」は
「原発フリー」です。
さあ！電気を変えましょう

グリーンコープ生協ふくおかでの「グリーンコープでんき」の契約者数です。

2020年1月現在 契約者数1,878人

ふくおかの組合員数は198,727人、**契約率はわずか0.9%**

ふくおかの2019年度目標契約者数 2,216人には**到達できていません。**

原発フリーの「グリーンコープでんき」

いつ始めるの？今までよ!!

出資金でも「グリーンコープでんき」の応援ができます。

2MWの発電所建設には約6億円かかります。10カ所つくるためには60億円が必要です。その1/3の20億円を組合員による出資で賄いたいと考えました。

2020年2月12日現在 ふくおかの出資者数は 5,425人

ふくおかの出資金額は 5億3012万6千円

オールグリーンコープ（かごしまからおおさかまでの14のグリーンコープ）
11億1371万円

3.20 さようなら原発 全国集会

3月20日(金) 春分の日、

東京都の亀戸中央公園で開催される「3.20 さようなら原発 全国集会」に、

今年も
参加します

参加の様子

